

2006 年度

科目名 Reading II B	対象学科・学年 文学部英語 4 回生	担当者 高 基秀
授業テーマ 英語読解力の養成		
授業の概要と目標 アガサ クリスティーの最高傑作劇「検察側の証人」を読み、会話表現の習得を目指す。二転、三転の思わぬ結末が待ち受けているので楽しみに。当然ながら、毎回きちんと予習をして授業に臨んでもらいたい。予習をしていないものは出席とは認めない。		
評価方法 出席 20%、授業中の発表 10%、前期、後期末試験 70%		
テキスト Witness for the Prosecution	著者 Agatha Christie	出版社 英宝社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 前期 Act One 後期 Act Two, Three 授業中にすべてを読むのは無理なので、飛ばしながら読むことになるが、具体的なスケジュールは1回目の授業で説明する。 また、この作品は映画化されているので、飛ばした箇所は、ビデオを見て内容を確認してもらうことになる。		